[戻る](#)

## 平成19年度の厚生労働科学技術政策（案）について

厚生労働省  
大臣官房厚生科学課  
平成18年4月19日

### 今後の予定

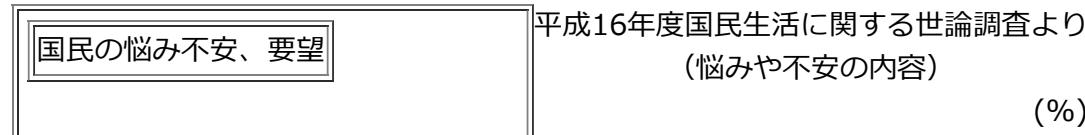
- |       |  |
|-------|--|
| 4月19日 | 厚生科学審議会科学技術部会<br>・ <u>「平成19年度の厚生労働科学技術政策（案）について」検討</u> |
|       |  |
|       |  |
| 4月25日 | 総合科学技術会議   |
| 5月23日 | ・「平成19年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針」検討等                    |
|       |  |
|       |  |
| 6月中   | 総合科学技術会議<br>・ <u>平成19年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針</u>     |

6月中	厚生科学審議会科学技術部会 ・平成17年度の厚生労働科学研究費補助金の成果の評価について
7月頃	厚生科学審議会科学技術部会 ・平成19年度研究事業に関する評価（予算概算要求前の評価）について
8月末	・平成19年度概算要求
9月	総合科学技術会議 ・科学技術関係施策の優先順位付け

## 厚生労働科学技術研究の方向性について

### ターゲットの重点化

少子高齢社会の進展に対応しライフサイエンス研究を重点化

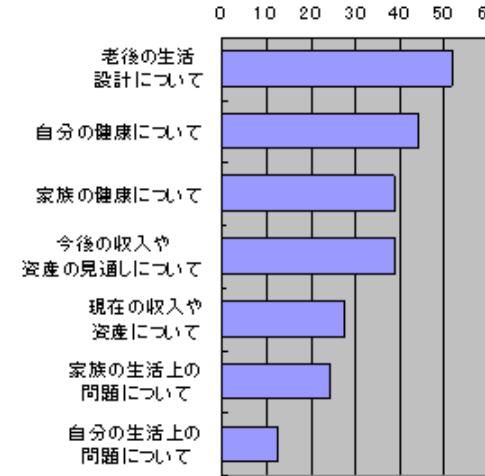


「老後の生活設計」

「健康」

「医療・年金等の社会保障構造改革」

(内閣府調査)



国民のニーズに沿う最も効果的な領域は

「健康安心の確保」

「医療等持続可能な社会保障の構築」



健康フロンティア戦略の策定

健康寿命の延伸

医療費の適正化

健康安全の確保

アプローチの改善

課題を解決するための研究推進方策について

(1)政策目的志向型研究の更なる推進

(2)成果に直結する効果的・効率的研究手法の開発

→治験を含む臨床研究の推進

→「戦略型研究」の推進

- ・成果目標を設定した5年間程度の大規模研究

- ・戦略的な資金配分を行い、確実な課題解決を誘導

【例】自殺関連うつ対策戦略研究

糖尿病予防のための戦略研究

→平成18年度は戦略型研究を2課題拡充、プロジェクト提案型研究の開始等さらなる推進を図る

### (3)人材の育成

質の高い研究成果を創出できる人材の体系的な育成疫学／統計学の専門家等の研究基盤を支える専門家の育成

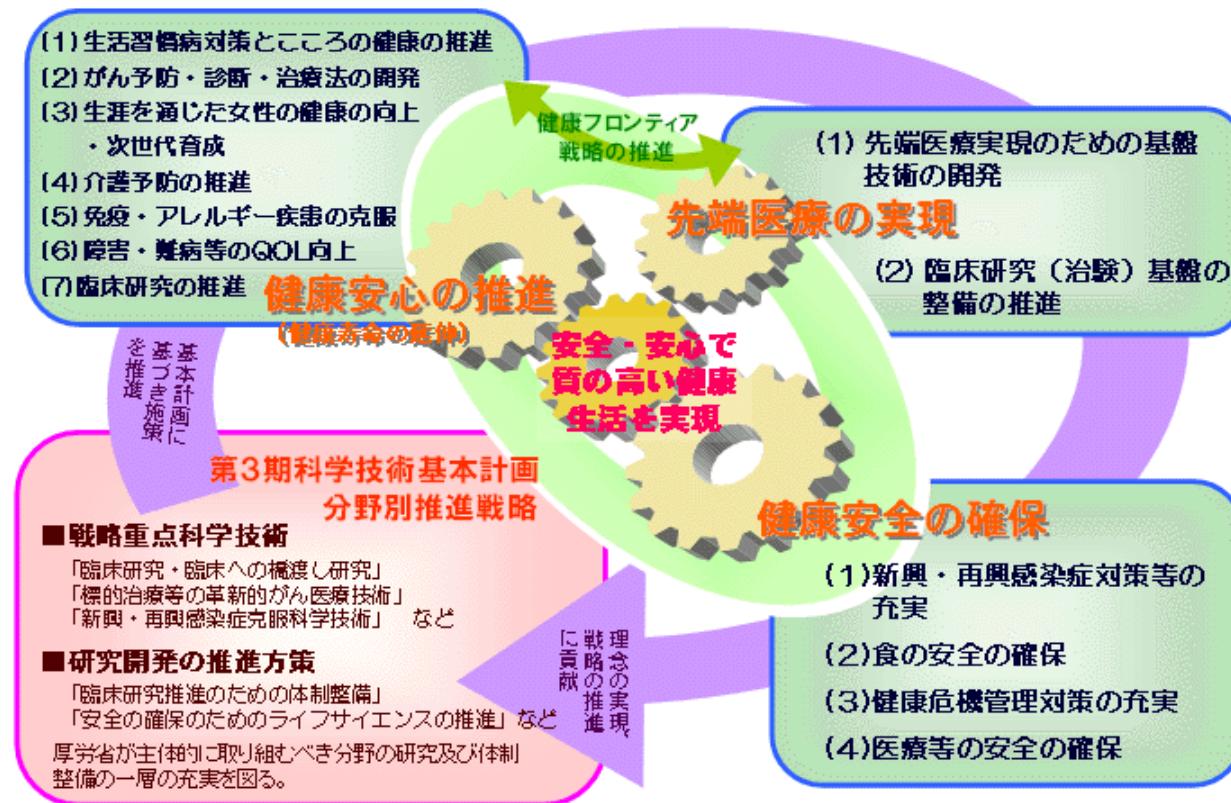
→臨床研究の推進といったニーズに対応

政策的に必要な科学研究を戦略的に推進

## 第3期科学技術基本計画を踏まえた厚生労働省の取り組み



## 平成19年度の厚生労働省の科学技術研究の推進の基本的考え方



参考

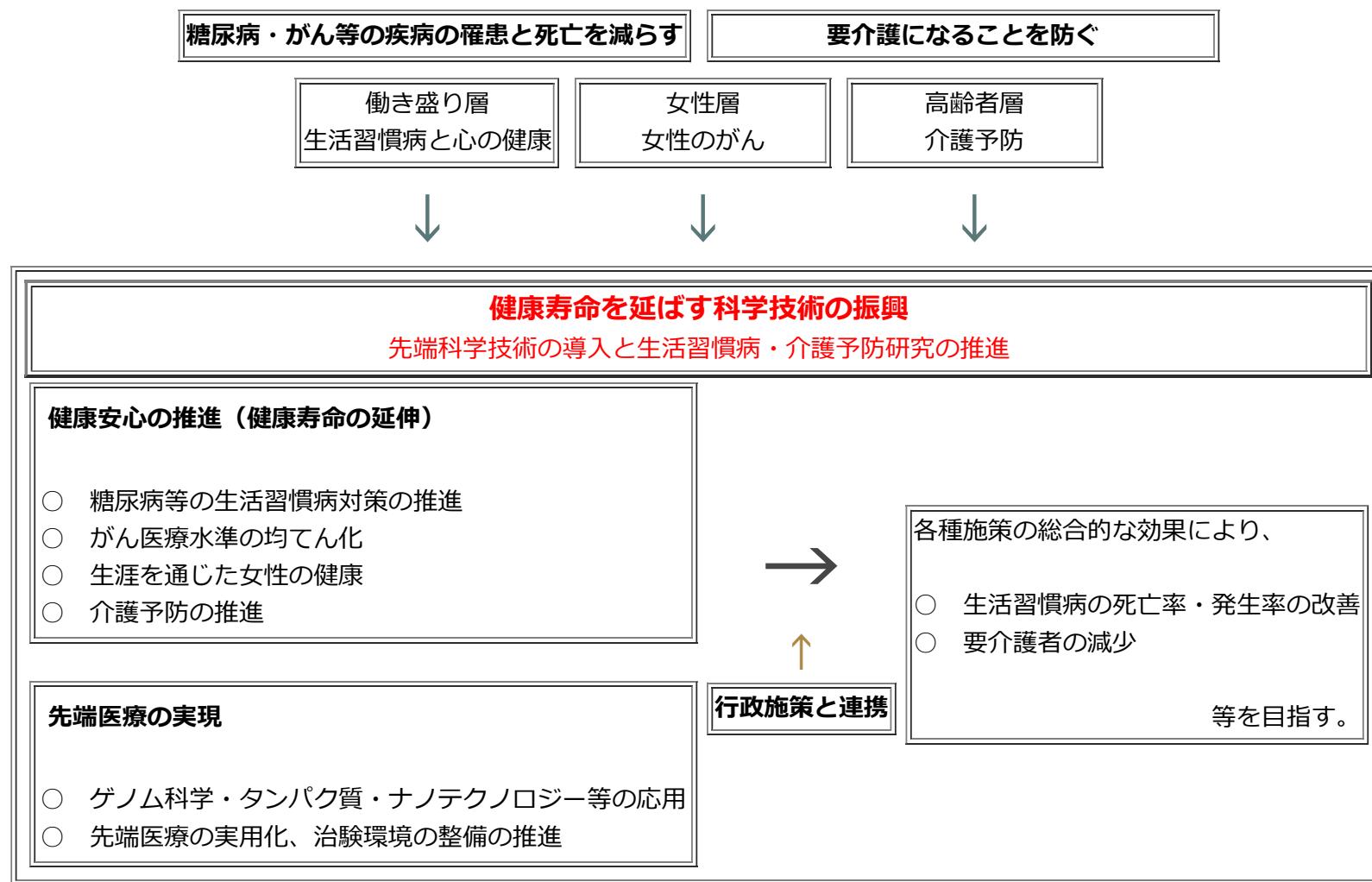
### 健康フロンティア戦略の策定（健康寿命を伸ばす科学技術の振興）

（平成17年度～平成26年度）

#### 我が国は超高齢化社会への道

10年後の平成27年（2015年）には、高齢者数が3300万人と予測  
 「明るく活力ある社会」を構築と「健康寿命」の延伸へ



[トップへ](#)[戻る](#)